



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」を今やってみよう！	
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2015 2月間強調 TOF・CS・FF

今月の聖句 (担当 西 信之君)	2月強調月間								
<p>目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。</p> <p>コリントの信徒への手紙一 16章 13節～14節</p>	<p>身近なボランティア、献金にご協力をお願いいたします。</p> <p>渡壁十郎地域奉仕・環境事業主任 (長浜クラブ)</p>								
<p>2月例会 プログラム</p> <p>と き 2015年2月19日 (Thu.) 18:30～20:30 ところ 金沢ニューグランドホテル 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メット)</p> <p>司会 数澤輝夫君 清水淳会長 開会・点鐘 清水淳会長 主 題 司 会 者 ワイズソング 一 同 今月の聖句 司 会 者 入 会 式 清水淳会長 ハッピーバースデー 清水淳会長 ゲスト紹介 伊藤仁信君 食前の感謝 山本達也君 スピーチ 織田 勉氏 “金沢紅茶について”</p> <p>委員会報告 各 委 員 ニコニコタイム 伊藤仁信君 YMCAの歌 一 同 閉会・点鐘 清水淳会長</p>	<p>1月 クラブ活動状況</p> <p>第1例会 (1月15日 Thu.) メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、藤井、山内、山本 (8名) 出席率 : 100 % メネット : 伊藤、数澤、山本 (3名) ゲスト : 朝倉みゆきさん、 (1名)</p> <p>第2例会 (1月5日 Mon.) メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷 (4名) メネット : 数澤 (1名)</p> <p>ニコニコタイム 13,000円 クラブファンド 累計 62,500円</p> <p>BFポイント</p> <table border="0"> <tr> <td>切手</td> <td>0g</td> <td>累計</td> <td>1,000g</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>0円</td> <td>累計</td> <td>13,500円</td> </tr> </table>	切手	0g	累計	1,000g	現金	0円	累計	13,500円
切手	0g	累計	1,000g						
現金	0円	累計	13,500円						
<p>会 長 清水 淳 書 記 山内ミハル 副会長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信 直前会長 幸正 一誠 メット会長 数澤淑子</p>	<p>第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30～20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311 第二例会 : 毎月1日 18:30～20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>								

「私はシャルリー」：狂ったフランス

西 信之

フランスの首都パリは、その都市の持つ文化的な素晴らしさと、セーヌ川やブローニュの森などの美しい風景の魅力から大好きな町であり、度々訪れている。Orsay 大学からフランス政府の国費在外派遣研究員の滞在を引き受けたり、パリ南大学との交流事業にも係わりフランス文化や科学の水準を知ることが出来、また何人かの日本人留学生を紹介された。統計上は、80%のフランス国民がカトリック教会に籍を置いているらしいが、実際は10%位しか教会に通っていない。これは、大都市部の事情が大きく係わっているらしく、比較的人口の少ないロワール地方のトゥール（ロワールの古城巡りの拠点都市）での会議の朝、続々と教会の礼拝に参加する人々の列を見て地方での心豊かな人々の暮らしに大いに心打たれた思い出がある。一方、パリや南フランスのマルセイユでは、怖い経験をした。これらの都市には、旧植民地からの移民が多く黒人も多い。2月のパリでは極寒の凍り付いた路上に寝袋で転がっているホームレス達をみて言葉が出なかったし、川沿いのテント村も有名である。ホームレスの人達は純粋なフランス人が多く、移民に職を盗られたとも思い込んでいる。しかし、彼らの存在は、「自由な生き方」を選択したフランス人の一つの結末であるような気がしてならない。何度も結婚と離婚を繰り返し、家族に見放され、精神的に追い詰められ働く意欲も失ったフランス人が少なくない。

今年1月にパリで起こった「シャルリー・エブド社」襲撃殺人事件は、イスラム過激派に傾倒するフランス人が起こした悲劇である。「シャルリー・エブド」の風刺画は、表現の自由の名の下に様々な政治家や宗教的指導者達を劣悪な表現で貶めるもので、日本の力士を四つ足で表現したり、ローマ法王をポパイ風に描いて茶化すなど、これらを見て喜ぶフランス人の精神性を疑うものである。事件後、「私はシャルリー」と書いたプラカードを持った人々を含む370万人の人々がフランス全土でデモを行った。「私はシャルリー」というプラカードは、表現の自由を守りテロに屈しないという意味表示であろうが、一連の事件の本質は、テロを含めフランスが抱えた民族問題と新自由主義思想にある。

テロ勢力の背景には、オイルマネーで巨富を得たアラブ人達のフランスやイギリスのかつての植民地支配に対する憎悪と復讐がある。フランスやイギリスは、この歴史的な民族問題を振り返ることなく自由のため

の「戦争」と言って互いの殺戮を繰り返すことを止め、この広い意味での国内問題を解決する必要がある。しかし、表面的な対応に留まる「狂ったフランス人」を続ける限り、国は益々疲弊し、ヨーロッパの品位と尊厳、そして経済の発展を保つことは出来ないだろう。もう一つの重要な要因は、日本でも竹中平蔵らによって誤って導入された「新自由主義」がある。新自由主義理論の基本的前提は、所得の適切な再分配とそれによる社会保障制度の確立であるが、この前提を無視し、自由競争による富の偏在と大量の生活困窮者を生んだ罪は重い。自ら人材派遣会社の会長に納まり、産業競争力会議などの諮問委員として政府に終身雇用制の廃止を強要するに至っては、厳しく糾弾されるべき行為であろう。彼らの誤った政治によってまともな職につけなくなった30代の若者は、大変な被害者であり、これが出生率を大きく下げた元凶にもなっている。

フランス人の不幸は、真にこの新自由主義による貧困者の急激な増加に明らかなように、誤った政治に起因している。これはグローバル化し、我が国にも深刻な影響をもたらしている。我々も、波にのまれること無く、フィンランドに見られるような賢明な道を捜さなくてはならない。

【1月例会報告】

1月は山本典子メネット(歯科医)にスピーチをお願いしました。テーマは“病氣と歯の関係etc.”

いつも活動を共にしている仲間ですから、堅苦しい講話ではなく、質問に答える形で、ざっくばらんに話してもらうことにしました。



はじめに、歯科医師になった経緯についてお話があり、続いて幼児から老人までのいろいろな患者を診ていて感じられることから、主に歯周病について話されました。以下は話された概要です。

歯をよく磨いていても歯周病になる方がいる。何が原因かははっきり言えないが、夜の仕事の方、看護師さん、要介護の家族を抱えている方、ストレスの多い方、受験生の子どものある方、月経の時、免疫が少ない方、唾液が少ない方、喫煙者などに歯周病が進行しやすく、治りにくいと思われる。スウェーデンでは善玉菌の入ったタブレットがあるが、日本でも発売されている。歯周病と糖尿病はかなり関係が深く、歯周病が糖尿病を引き起こしたり、悪化させることもあると言われている。歯周病がひどくなり、炎症が続くと、TNF- α が増え、血液中に流れ込み、CRP値が上昇する。CRP値の上昇は、肝臓の働きを弱め、糖代謝にも悪影響を及ぼす。歯周病菌は何種類もあり、家族間でもうつる。歯周病を治療すると糖尿病もよくなると言われ、歯周病予防は心臓の病気も防ぐ。また、歯周病の最大のリスクは喫煙。歯周病菌は妊娠・出産時にも悪影響を与え、特に女性に多い骨粗しょう症の人が歯周病になると歯槽骨が急速に痩せる。骨粗しょう症の薬を服用している人は、その薬によっては、抜歯の時3ヶ月間は服用をやめる必要があることもある。

歯ブラシの選び方と磨き方についての質問に答えて、歯ブラシは柔らかすぎるのはよくない。ブラシの長さは自分に合ったものを選ぶこと。磨くときは歯の根元にあてて、横に細かく振動させる。歯ブラシは2種類ほどもって、朝と夕、交互に替える等した方がよい。電動歯ブラシもいいものが出ており、当て方を考えて使うとよい。歯間ブラシや糸ようじ等、歯の隙間の大きさに合わせて使用するとよい。唾には殺菌力があるが、絶えず何か食べていると虫歯になりやすい。唾液の少ない人はキシリトールガムなどは有効。歯磨き剤は少なめがよい。最初は水で磨き、次に歯磨き剤をつけて磨くのもよい。

その他「歯科医院で扱っている歯ブラシはすぐダメになるのでは?」「歯が抜けるのは歯周病が原因?」「歯垢と歯石について」「歯の定期検診は?」「入れ歯、差し歯について」等、日頃気になっている質問に、丁寧に答えたいいただき、和気あいあいの内に終了しました。

(文責 山内ミハル)

歓迎! 新入会

朝倉みゆきさん

住所 白山市森島町い75-6

1947年12月23日 生まれ

金沢文化服装学院 師範科修了

趣味: 洋裁、料理

織田 勉氏 プロフィール

1949 (昭和24) 年12月5日生

昭和24年に金沢市下新町に京都宇治より転居。

同時に「上林茶舗」(金沢本店)を開設。

現在店主として「七尾店」、「めいてつ・エムザ店」の2支店舗を有し3店舗で営業。

昭和46年石川県茶商工業協同組合を設立。

理事長に就任。

昭和21年「茶レンジの会」設立。「加賀の紅茶」を開発。

趣味: 茶道(裏千家準教授)、長唄

~~~~~ お知らせ ~~~~~

☆厳冬の日本海の幸を食す会

前号でお知らせ済みですが、テレビやグルメ雑誌で全く著名で無い、食輝(しょくてらす)ATARASI屋 料理人 瑠璃人氏を迎えて『寒ぶり1匹き大会』を開催致します。氏、曰く「主菜はぶりの塩焼」!!皆さん、是非、ご参加願います。

日時: 2015年2月14日(土)

場所: 金沢ワイズメンズクラブ 山内邸

会費: ¥2,000~¥3,000

尚、飲み物は各自にてお願いします。

2月11日までに欠席のお返事を、幸正までお知らせください。

☆次期会長・主査研修会について

日時: 2015年3月7日(土)~8日(日)

場所: チサンホテル大阪

☆中部合同メネット会

日時: 2015年4月25日(土)~26日(日)

場所: 金沢 彩の庭ホテル

金沢市長田2-4-8

TEL 076-235-5111

☆第3回中部評議会・EMC200推進委員会

日時: 2015年4月25日(土)

場所: 金沢 彩の庭ホテル

☆第18回西日本区大会

日時: 2015年6月13日(土)~14日(日)

場所: ハイアットリージェンシー大阪

☆第 26 回アジア地域大会

日程：2015 年 7 月 31 日(金)～8 月 2 日(日)

会場：ウェスティン都ホテル京都

登録費：39,000 円 (早期割引 35,000 円)

3 月 31 日までに申し込み、送金いただいた場合：
35,000 円

☆ 2 月例会にご用意ください

C S 献金 1,500 円

T O F 献金 1,400 円

Happy Birthday

今月は該当者ありません

~~~~~ YMCAからのお知らせ ~~~~~

☆スキー教室

日時：2 月 28 日(土) (悪天候の場合は中止)

集合：8：00 金沢教会(金沢市柿木畠)

解散：18：00 金沢教会

行先：白山一里野温泉スキー場

参加費：8,000 円

連絡先：金沢 YMCA TEL 076-255-7782

澁谷 〆 090-4683-9380

3 月の担当

ブリテン執筆：藤井 辰男君

伊藤 悦子さん

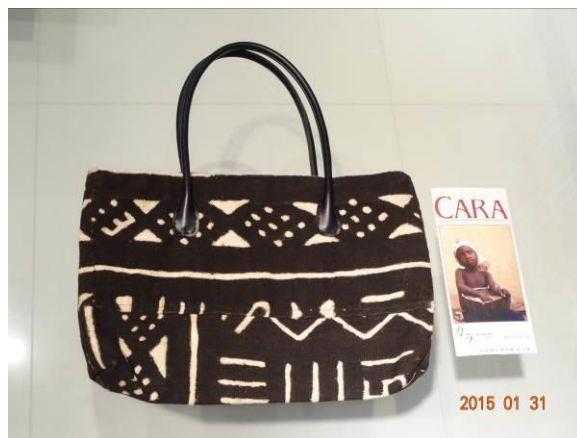
卓 話 担 当：伊藤 仁信君

~~~~~ ネット報 ~~~~~

CARAって何？

先日、女性歯科医師の先輩から、すごい方が来ているから是非来て欲しいと連絡が入りました。前もって資料をみると、村上一枝先生という女性歯科医師で、新潟で開業していたが、48 歳の時(1989 年)にアフリカのマリ共和国に移住し、現地の村の女性の自立や、生活改善にずっと取り組んでいると書いてありました。マリ共和国とは(フランス領スーダンと呼ばれていた)西アフリカで 70%がサハラ砂漠、人口 1,630 万人、平均寿命が男性 50 歳、女性 56 歳で、識字率男性 26.7%、女性 11.7%です。これらから、いかに農村民の女性を自立させることの困難さがわかりました。実際お話を伺ってみると村上先生の最初になさったことは、村の女性たちに裁縫を教えたことです。まず自分の家族のものを作り、次に売れるものを作り、少しでも収入を得るようにさせたそうです。初めて行った頃は井戸が

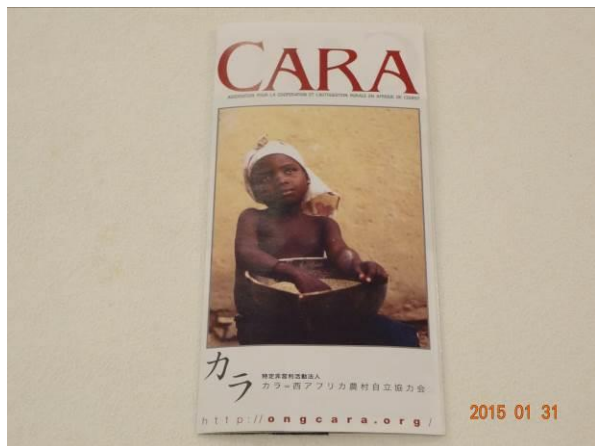
村の人は木を伐採して燃料にしていくため、砂漠がどんどん増えていってしまうので、植林をさせてまきを作りそれを燃料にし、また売ってお金を稼ぐようにさせました。



小さな寺小屋を作り子供たちや女性に勉強を教え、出産の時に女性や新生児が死亡することが多かったので、村の女性を教育し助産師の資格を取らせ、助産師として村で働くようにさせました。

今まで、述べたようにその村を良くするには、ただ箱物だけ作ることも、また一時しのぎの援助をすることなど、そういうものはしないほうがましと言われていました。本人たちが自立していけるように助けることが大切なことだと理解しました。

一人で、そんなに遠い国に行かれ活動している先生を、本当にスゴイと思いました。少しでも手伝えたらと、村の女性達が染色して作った手さげバックを買い、CARA(西アフリカ農村自立協力会)の会員になりました。(山本 典子 記)



ないので、女性達は、水汲みの時間がかかり、衛生面も悪かったため、まず、井戸を掘り、野菜を作って収入を得るように指導されました。